

|   |          |      |     |
|---|----------|------|-----|
| 授業科目名   | NGO・NPO論 | 単位数  | 2単位 |
| 担当教員名   | 高橋泉      | 担当形態 | 単独  |
| 実務内容<br>(実務家教員の場合)  |          |      |     |
| <p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる(実践力)<br/>DP5.共生社会創造の目的のために、様々な分野について絶えず学び続ける態度を持つことができる(継続力)</p>   |          |      |     |
| <p>授業のテーマ及び到達目標</p> <p>(1) ボランティアの本質を理解し、ボランティア活動の支援組織としてのNGO・NPOについて理解する。<br/>(2) NGO・NPOと行政との関係性について学び、課題や問題点を考察する。<br/>(3) 実際のNGO・NPOの活動事例から、現代の社会的課題に対してNGO・NPOが果たす役割と意義について考察する。</p>   |          |      |     |
| <p>授業の概要</p> <p>NGO・NPOはどのような社会的役割を担う組織であるかという点について、活動事例を中心にその実態を学ぶ。また行政の政策との関係性、NGO・NPOの活動の位置づけについて、ボランティアの本質を踏まえた上で考察する。NGOやNPOの運営主体のうち、宗教団体について教科書の事例を基に理解を深め、NGO・NPOにおいて宗教が果たす役割について考察する。</p>   |          |      |     |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：イントロダクション：NGO・NPOの基本的事項（第1章）<br/>第2回：ボランティアの本質（第1章）<br/>第3回：NPO法成立の経緯と市民活動（第2章）<br/>第4回：日本のNGOの活動史（第2章）<br/>第5回：国際協力におけるNGOの活動実態（第2章）<br/>第6回：NGOと被支援国（事例検討）（第3章）<br/>第7回：ボランティアの原理と日本社会におけるNGO・NPOの課題（第3章）<br/>第8回：行政・企業とNPO/NGO（第4章）<br/>第9回：NGO・NPOの社会的地位—諸外国との比較（第4章、第6章、第7章）<br/>第10回：NGO・NPOの財政的基盤とその問題点（第4章）<br/>第11回：NGO・NPOと宗教団体（第5章）<br/>第12回：関連法の規定と宗教の関係性（第5章）<br/>第13回：宗教系NGO・NPOの特徴と強み（第5章）<br/>第14回：資金調達面における宗教ネットワークの意義（第5章）<br/>第15回：科目修得試験</p> |          |      |     |
| <p>スクーリングでの学修</p>   |          |      |     |
| <p>テキスト</p> <p>平田哲（2005）『NPO・NGOとは何か』中央経済社 ISBN4-502-37850-X</p>  |          |      |     |
| <p>参考書・参考資料等</p> <p>参考文献<br/>柴田謙治・原田正樹・名賀亨編（2010）『ボランティア論—「広がり」から「深まり」へ—』株式会社みらい ISBN978-4-86015-206-2</p> <p>参考URL<br/>内閣府「内閣府NPOホームページ」 <a href="https://www.npo-homepage.go.jp/">https://www.npo-homepage.go.jp/</a><br/>外務省「ODA（政府開発援助） 国際協力とNGO」 <a href="https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda.html">https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda.html</a></p>   |          |      |     |
| <p>学生に対する評価</p> <p>レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）</p>  |          |      |     |